ハッジ

－巡礼－







[HP]

今年度のハッジへの参加希望者は住所、氏名、職業を送信して下さい：

住所：

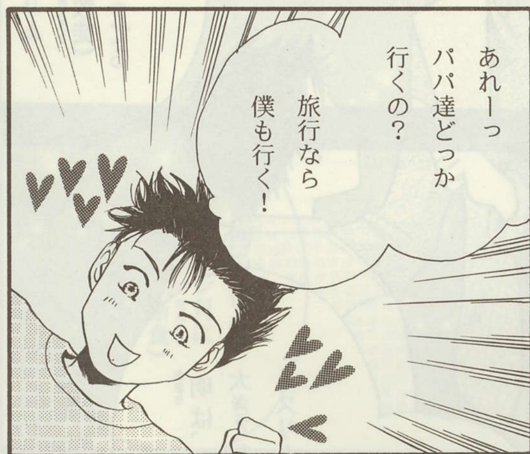
氏名：

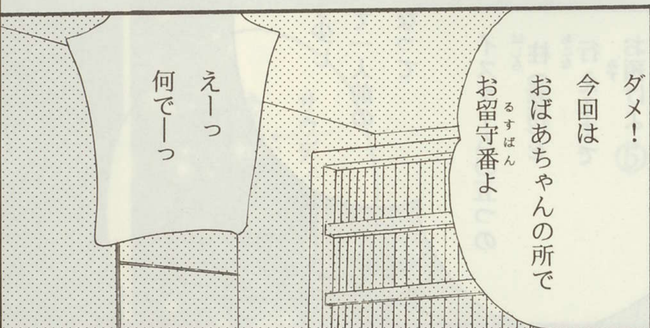
職業：

………

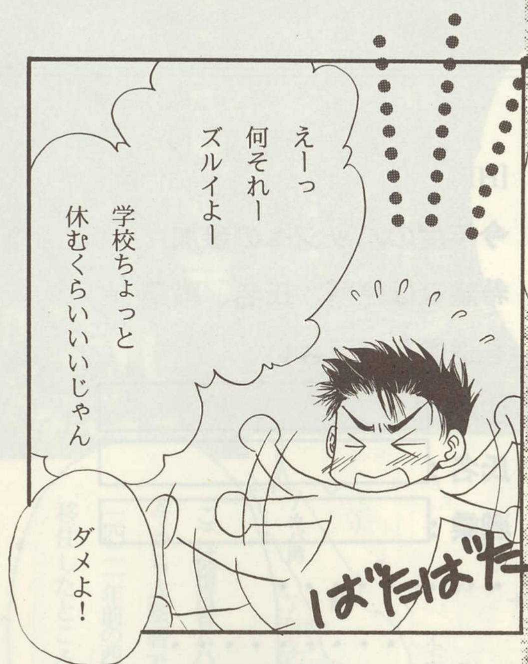
…………








パパ達が行くのは観光旅行じゃなくて巡礼なんだよ
おまえは、学校があるから休めないし、第一明には、早すぎる


・・・・・・
えーっ何それーズルイよー
学校ちょっと休むくらいいいじゃん
ばたばた
ダメよ！


私たちがムスリム（イスラーム教徒）なのは、わかってるでしょ
明は、もう少し大きくなって一人前のムスリムになって
イスラームの五つの柱（義務）を行えるまでお預けよ


?
柱？何それ？


ムスリムとしてやるべき決まり事のことだよ

第一の柱は
シャハーダ
アッラーの他に
神なく
ムハンマドはアッラーの
御使いであることを
証言するの

①信仰告白（シャハーダ）

②礼拝（サラート）

第二の柱は
一日五回のサラート（礼拝）
をすること

第三の柱は
ザカート（喜捨）を
すること

③喜捨（ザカート）

④断食（サウム）

第四の柱は
ラマダン月に
サウム（断食）
をすること

そして第五の柱は
体力的経済的に
可能ならばハッジ（巡礼）
にいくことで

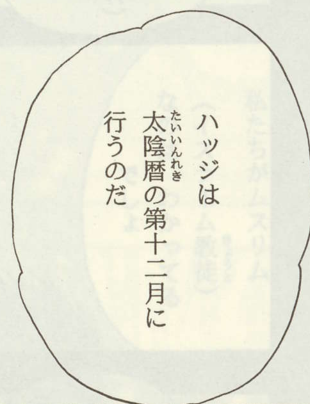
⑤巡礼（ハッジ）

サウディアラビアに
ある聖地マッカ（メッカ）
を訪れることを
いうんだ





ハッジはね
時期が決まって
いるのよ

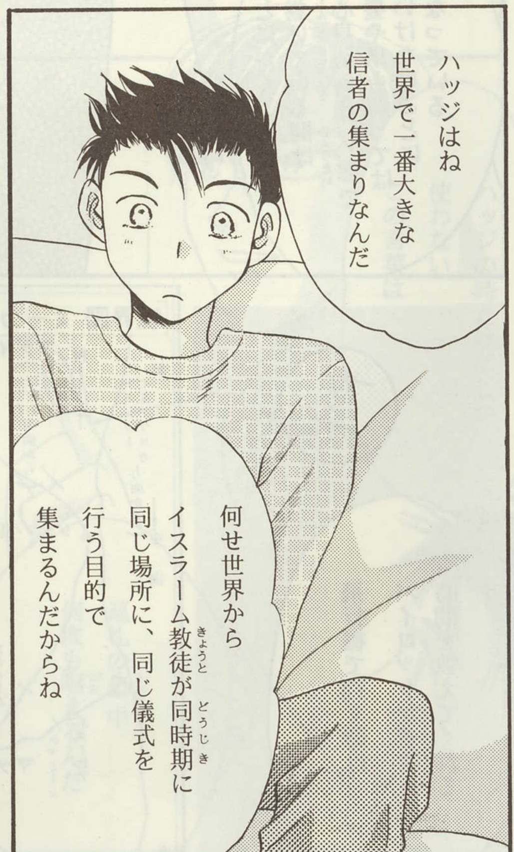


巡礼者は
その月の九日までに
聖地マッカに行かないと
いけないのよ

ハッジの時期は、太陽暦で
数えると毎年
十一日づつ早くなるので
きっとそのうち
明もいけるわよ


とにかく
僕は行けないって
ことか・・・
ちえっ！


でも、
ハッジ（巡礼）っていったい
何なの？何を
するわけ？
そうね、そういえば
あまり話したこと
なかったな


ハッジはね
世界で一番大きな
信者の集まりなんだ
何せ世界から
イスラーム教徒が同時期に
同じ場所に、同じ儀式を
行う目的で
集まるんだからね


カチッ
カチッ
えーと
確かこの辺の
ホームページに
あったと思ったが
あ
ほら、ちょっと
こっちに来て
みなさい

カチッ

男はみな縫い目のない
二枚の白い木綿の布
（イフラーム）
をこのように

一枚は腰に
もう一枚は肩に
巻くんだ・・・

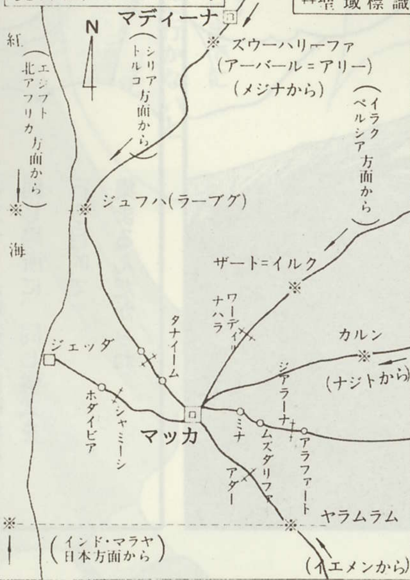
カチッ

女性は
全身を覆う
服装をして

髪の毛を
かくすんだ

とにかくこれを
巻いている間は
心身清浄な状態で
髪や爪も切っては
いけないことに
なっている

巡礼者たちは
「ミーカート」という境界に
近づいたら必ずこの
衣に着替えなきゃならない



カチッ

飛行機で行く時は
パイロットが着替えの
時間を教えてくれる

身を清めてから
イフラームに着替えて
まずハッジをする
意志表明（ニィヤ）を
するんだ

その後で
次の言葉を
言うんだ

ラッバイカ　アッラーフゥンマ　ラッバイカ　ラッバイカ　ラー　シャリーカ　ラカ
ラッバイカ　インナル　ハムダ　ワルニャマタ　ラカ　ワルムスク　ラー　シャリーカ
ラカ

「おお　アッラー、私は今急いであなたの下に参ります。
ハッジを行うために。」

لبيك اللهم لبيك , لبيك لا شريك لك لبيك إن الحمد
والنعمة لك والملك لا شريك لك

ハッジの時だけにしか
使わない
この言葉は

巡礼の最中
何度も唱えるんだ

ふん
ふん

そして巡礼者は
クルアーンを読み
「アッラーの他に崇拝するもの
はなく、アッラーは生みも
生まれもなく、アッラーに
ならぶものもない。ムハンマドは
アッラーの使徒である」事を
改めて誓うんだ

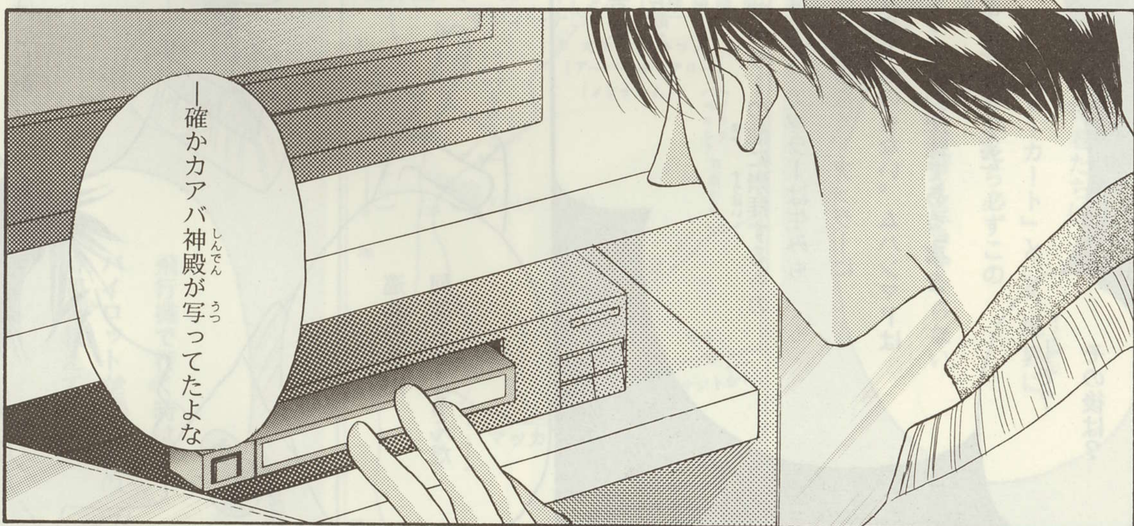
—で？
その後は？


―それからは
そうだ、この前テレビでやってたハッジの場面を覚えてる？
んー あんまり…


…しょうがないな
あ それなら ビデオに 撮ってあるわよ

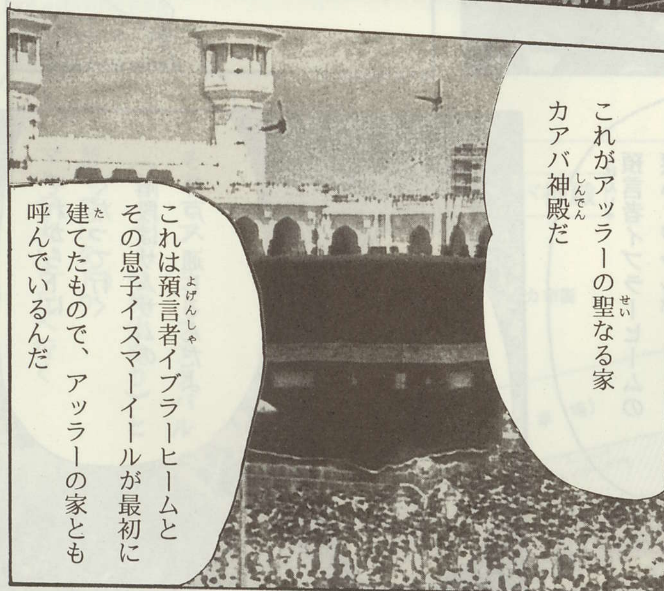

ちょっと待って しまい込んで あるから 出してくるわね
ぱたぱた


ママ、ありがとう
じゃ、居間へ移動するか
はーい


―確かカアバ神殿が写ってたよな

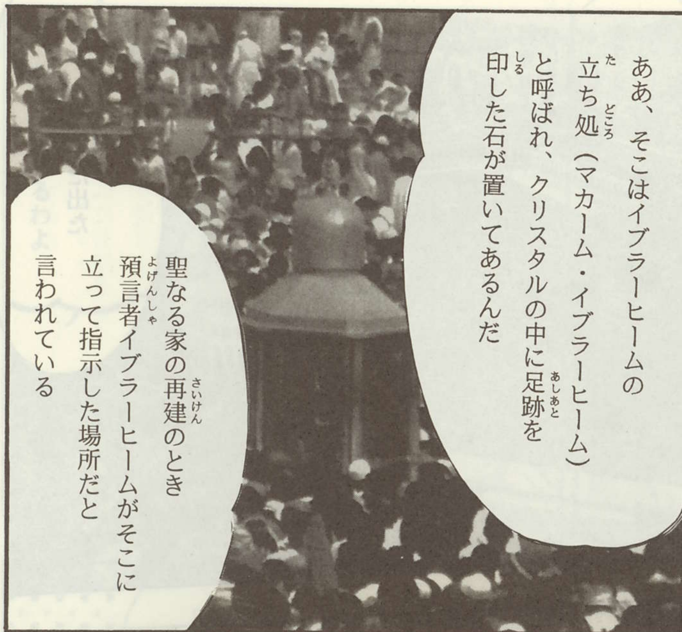

お、出た出た
これがあの有名なマッカにある聖モスクだよ

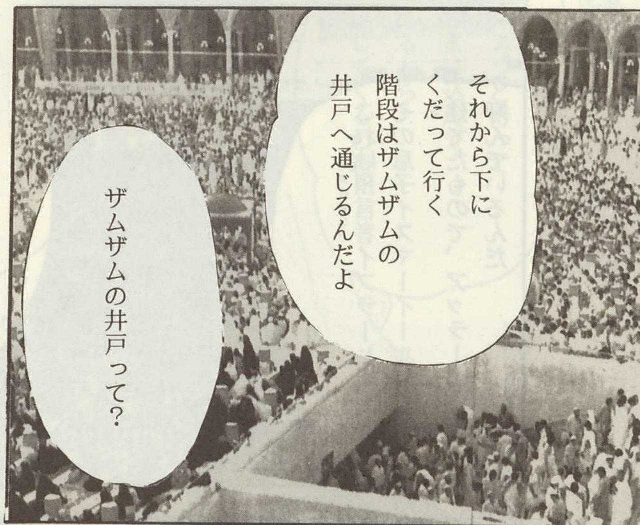

その中心にある黒い建物って何？みんな、これを中心にまわってるよね

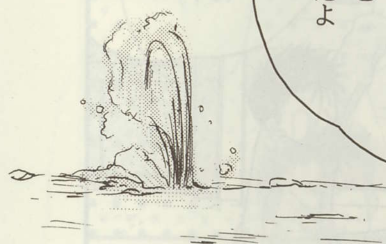

これがアッラーの聖なる家カアバ神殿だ
これは預言者イブラーヒームとその息子イスマーイールが最初に建てたもので、アッラーの家とも呼んでいるんだ

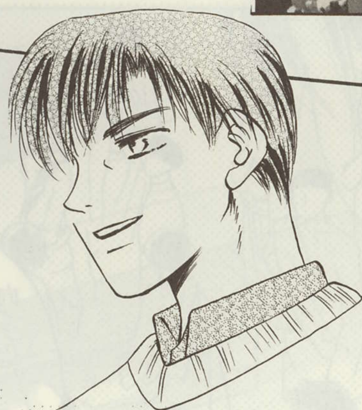

神の象徴みたいなもの？
いや、違うよムスリムが礼拝する時に世界中どこからでもこの神殿の方向を向くんだ
そしてそこを訪れるたび周りを回るのはタワーフといってアッラーをたたえ、感謝し罪の許しを求めたりする為なんだ


ねぇねぇ、カアバ神殿の近くにある建て物は何？


ああ、そこはイブラーヒームの立ち処（マカーム・イブラーヒーム）と呼ばれ、クリスタルの中に足跡を印した石が置いてあるんだ
聖なる家の再建のとき預言者イブラーヒームがそこに立って指示した場所だと言われている

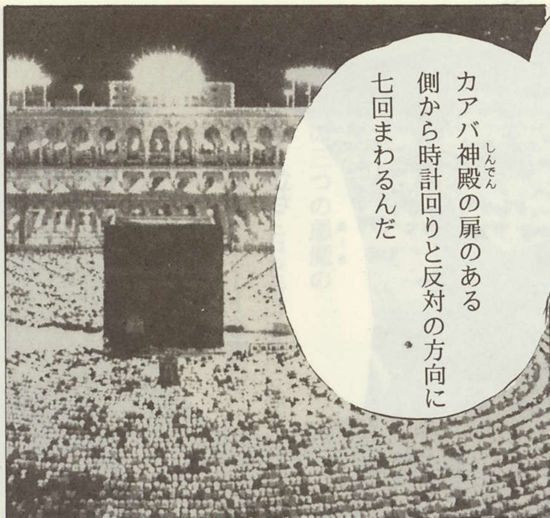

それから下にくだって行く階段はザムザムの井戸へ通じるんだよ
ザムザムの井戸って？


預言者イブラーヒームの妻ハージャルが子供のイスマーイールのために必死で水を探し求めた時、アッラーがそれに応えたことで湧き出たと言われているんだよ



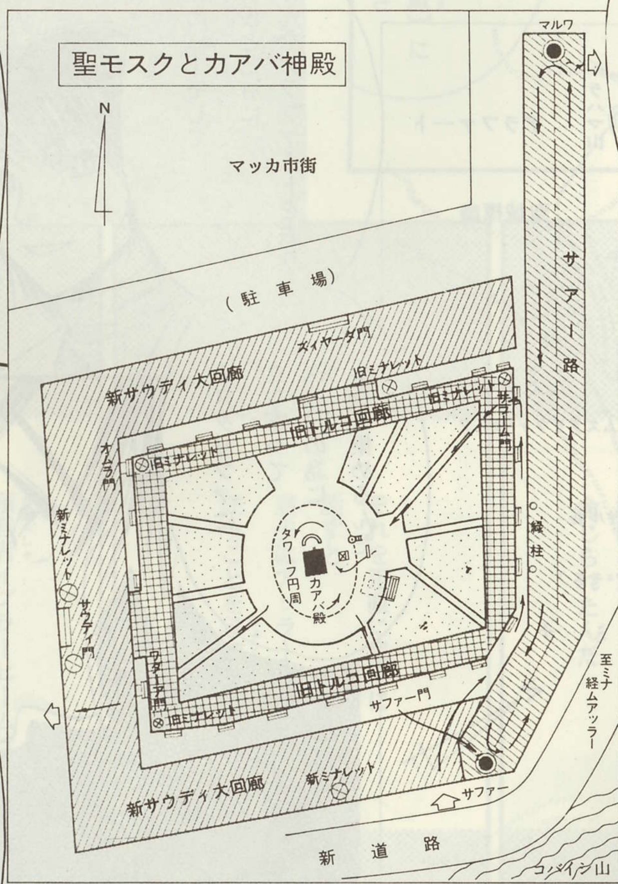
以来ザムザムの水は絶える事なく湧き続けてて
人々はこの恩恵を受け、あらゆる人々の出会いの場所となったんだよ





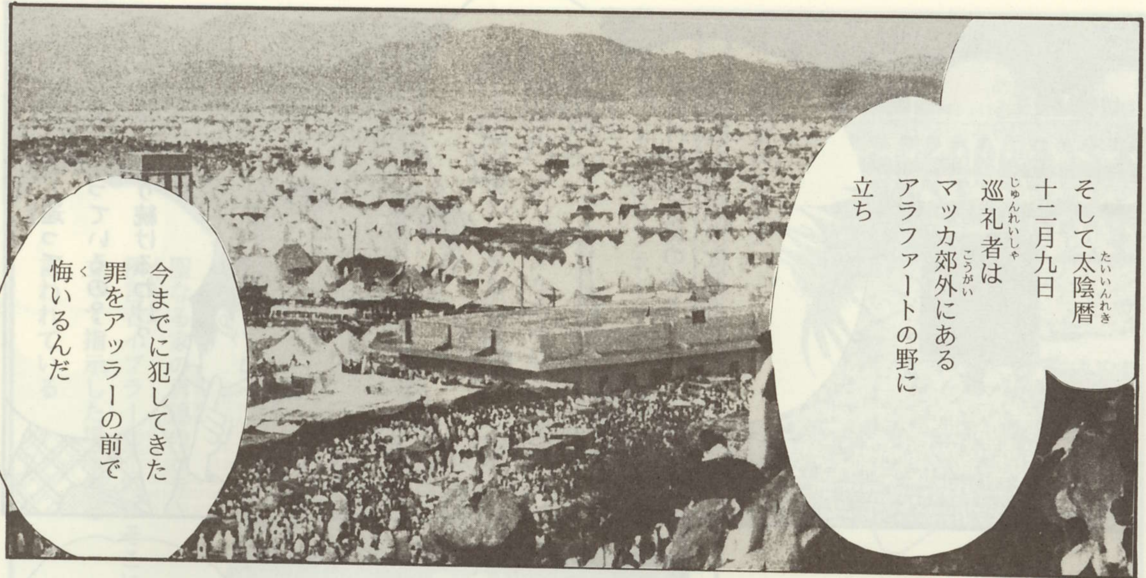
それから二回ラカー（礼拝の単位）の礼拝を捧げ、サファーと呼ばれる丘に行く

そこでアッラーフアクバル（アッラーは偉大なり）と言って丘を下りマルワという丘へ行く



そして巡礼者はこれを七回（三往復半）行き来して

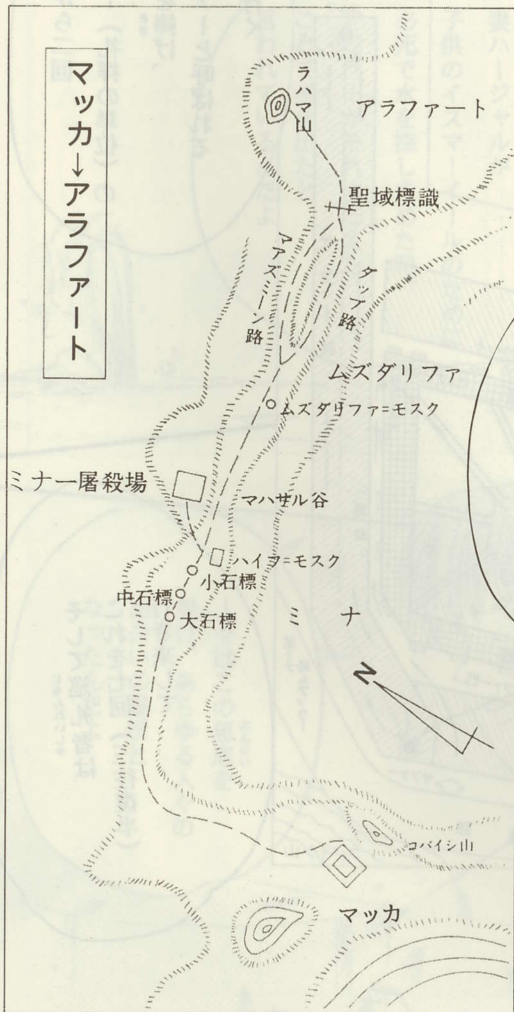
アッラーへの祈り、信仰の告白を繰り返すんだ



この日は巡礼の行事の中でもっとも重要な日とされてるのよね

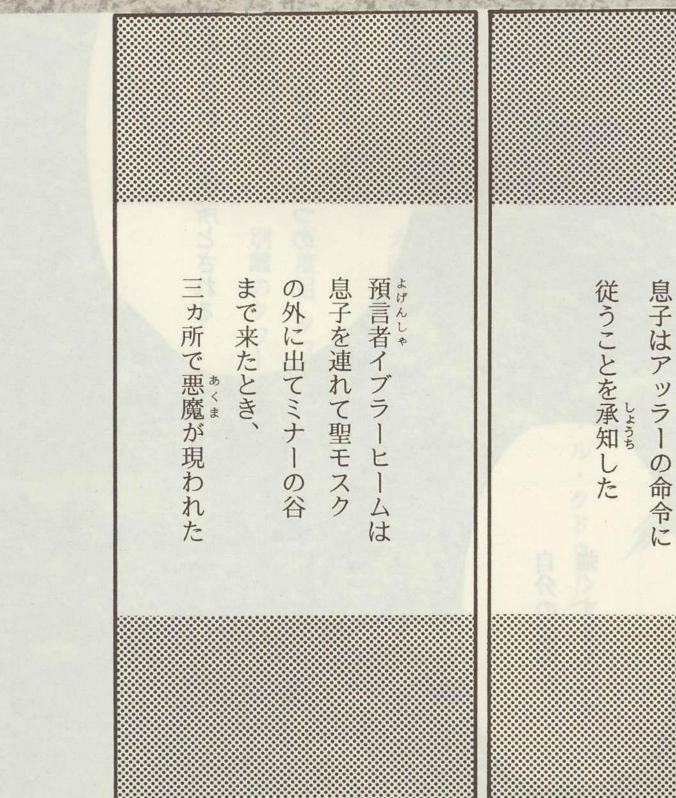
ああ、ーそして日没とともにみんなアラファートを去り

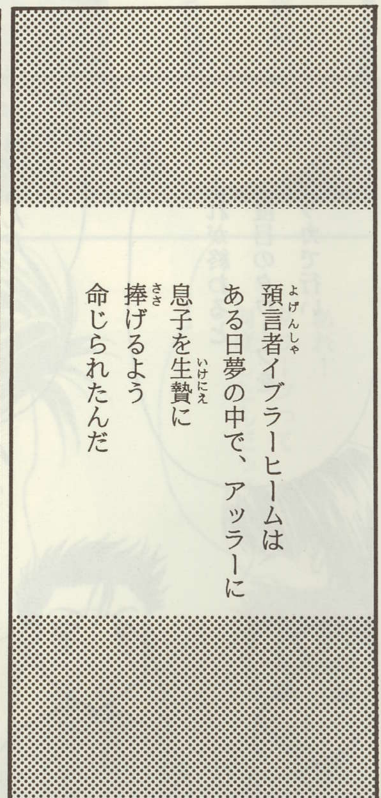
ムズダリファに立ち寄って次の日の為に小石を集めるんだ

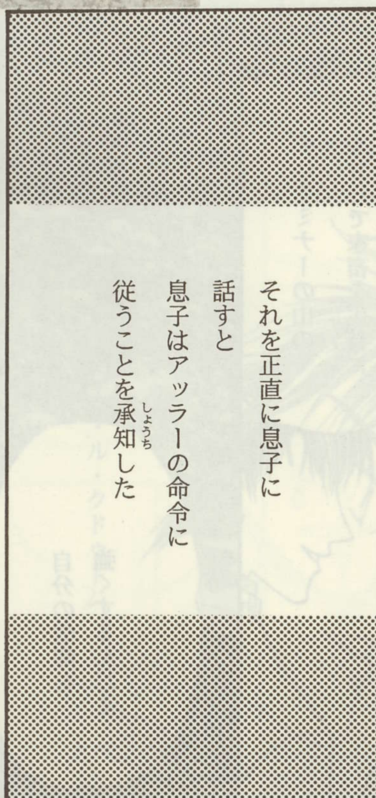


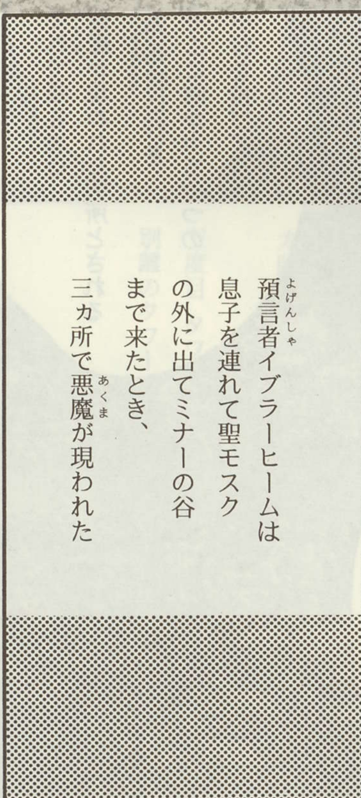

小石を？
何で？


次の日に行く
ミナーの谷の
シャイターン（悪魔）に
向かって投げる為さ


悪魔？
ああこの三つの悪魔の
石柱に向かって石を投げることは
意味があるんだよ


預言者イブラーヒームは
ある日夢の中で、アッラーに
息子を生贄に
捧げるよう
命じられたんだ

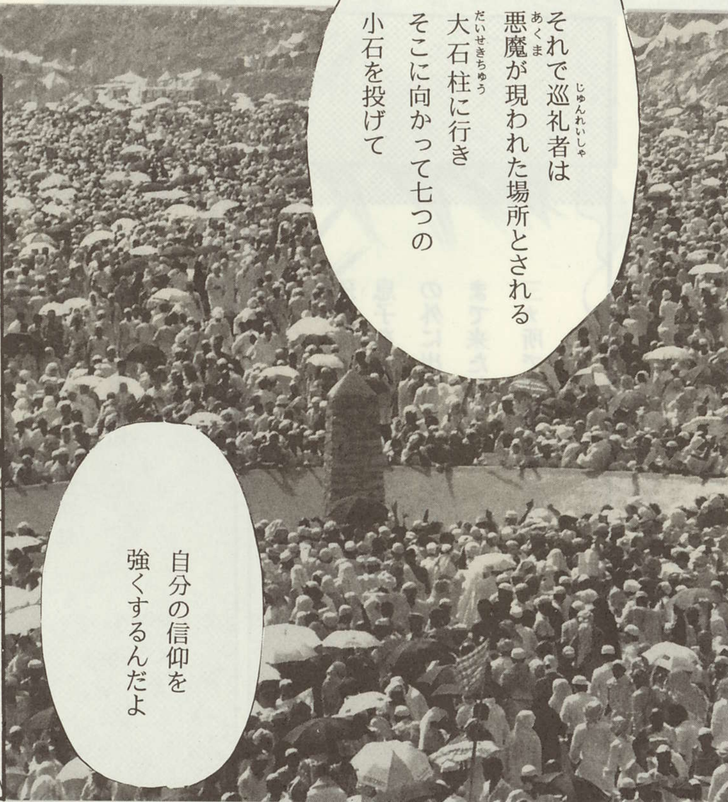

それを正直に息子に
話すと
息子はアッラーの命令に
従うことを承知した


預言者イブラーヒームは
息子を連れて聖モスク
の外に出てミナーの谷
まで来たとき、
三ヵ所で悪魔が現われた

悪魔（シャイターン）は巧みに
イブラーヒームの決心を
揺るがせようとするが
イブラーヒームはそれぞれの
悪魔に七つの石を
投げつけ追い払った

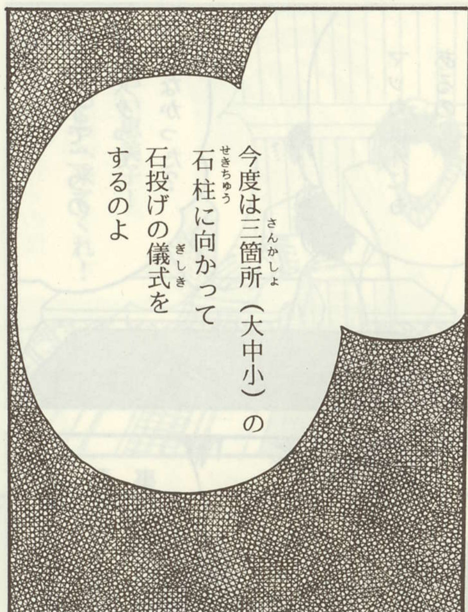
そして息子を縛りつけ
ナイフで刺そうとした瞬間
アッラーは告げた
もうよい、おまえ達が
純正な心であるか
どうか試したのだ

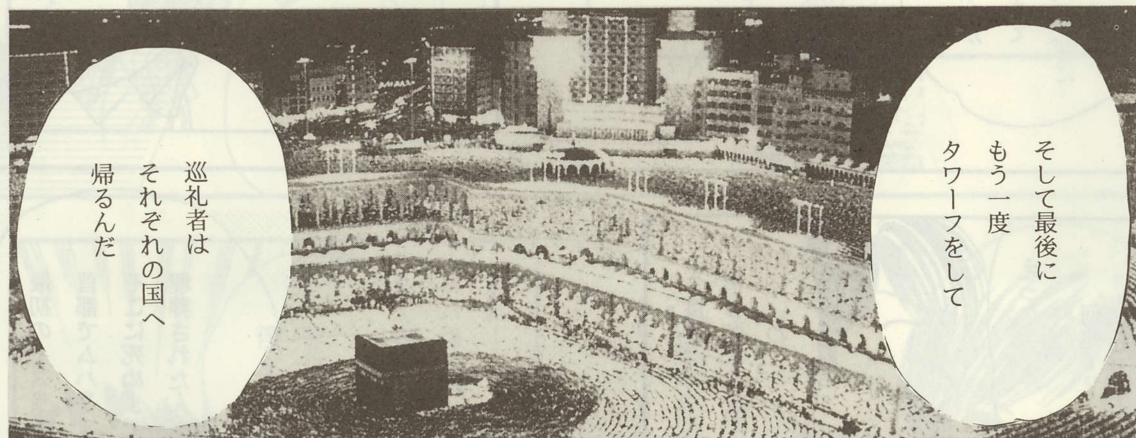
悪魔に屈しなかった
イブラーヒームと息子の
信仰は本物だった

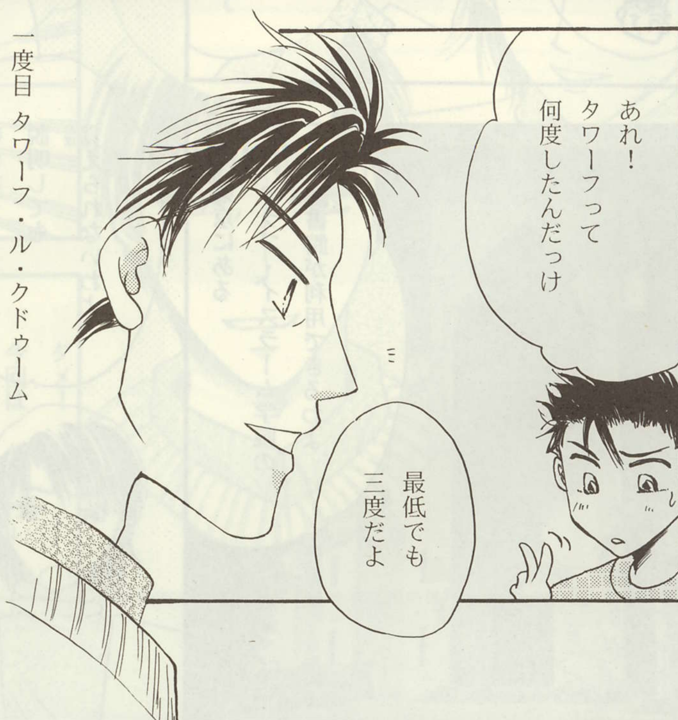












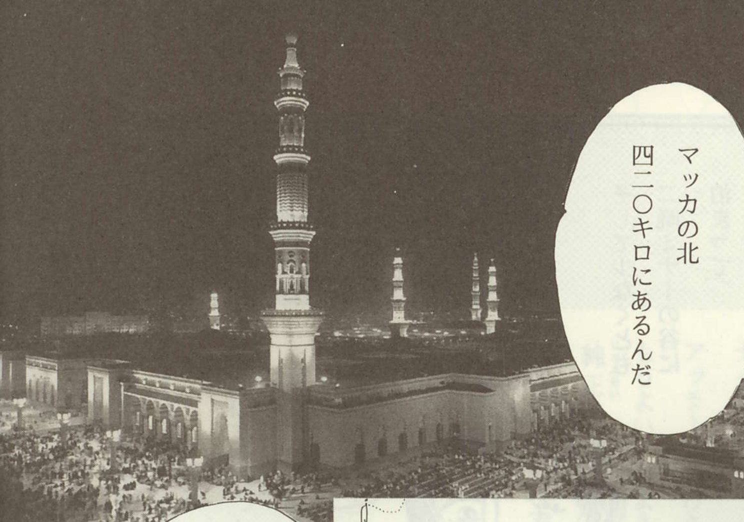
一度目　タワーフ・ル・クドゥーム
到着のタワーフ

二度目　タワーフ・ル・イファーダ
太陰暦第十二月に行うもの

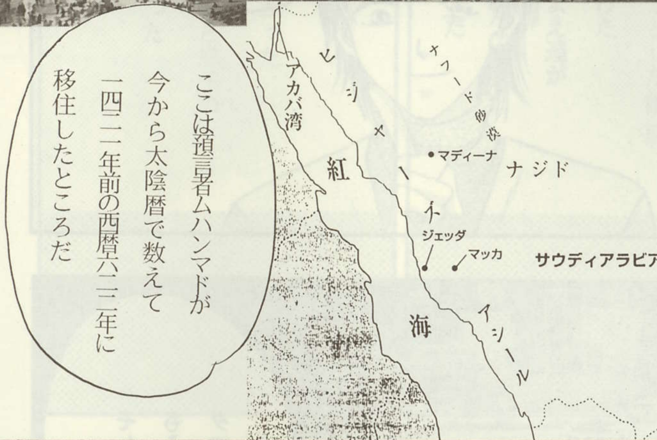
三度目　タワーフ・ル・ワダーア
別離のタワーフ




ねぇっ 今ビデオで二つの 聖モスクって いわなかった?
マッカ以外にも あるの?


マッカの北 四二〇キロにあるんだ


ああ。マディーナの 預言者モスクの 事だよ

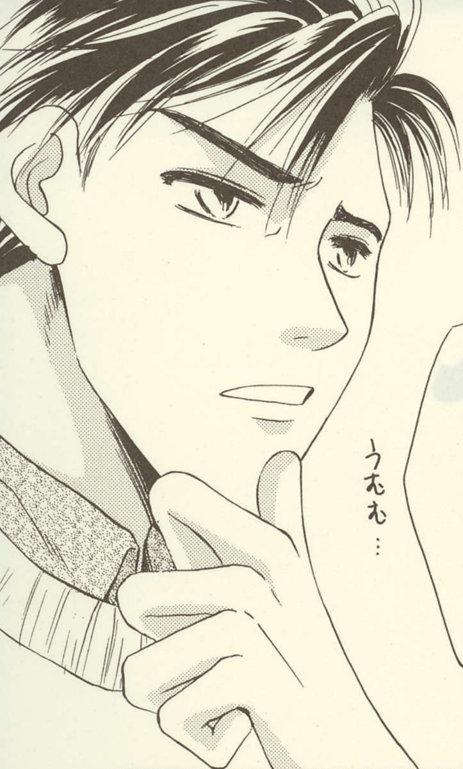

ナフード砂漠
ヒジャーズ
アカバ湾
マディーナ
ナジド
紅海
ジェッダ
マッカ
サウディアラビア
アシール
ここは預言者ムハンマドが 今から太陰暦で数えて 一四二二年前の西暦六二二年に 移住したところだ


最初のイスラームの 首都でムハンマドは そこに死ぬまで住み 埋葬されたんだ
その後ムハンマドの 後継者としてアブー・バクル オマル オスマーン アリー
これはとても面白い歴史でね
ふふふ…
いきなり 説明しても 覚えられないわよ


今度本を 借りてくると いいわ
えっ? 何処で?


東京にある アラブ・イスラーム学院の 図書館が利用できるわよ







パパー、絶対 お土産忘れないよねー

ああ

ナツメヤシでも 買ってくるよ

「リヤド」
2000年アラビア文化
の首都として
ユネスコから指定される



ハッジ

もっとも哀れみ深く慈悲深いアッラーの神に誓って、

「主よ、わたしは子孫である者をあなたの聖なる館の側の耕せない谷間に住まわせました。
主よ、かれらに礼拝の務めを守らせて下さい。
そうすれば人びとの心をかれらに引き付けるでしょう。
またかれらに果実を御授け下さい。きっとかれらは感謝するでしょう。」

イブラーヒーム章37

上記は、預言者イブラーヒーム（彼に平安あれ）がマッカのある地に妻と息子、イスマーイールを残して行くときにアッラー（神）に捧げた祈りの言葉です。アッラーはイブラーヒームの祈りに応えました。そのためにマッカと聖なる家(聖モスク)は、その日から現在にいたるまで、一年を通じて一日24時間いつでも礼拝に来る男女でいっぱいです。特にハッジ（巡礼）のシーズンの何日間かは、世界各国から約300万人がマッカとその周辺の聖地を訪れます。

この本では、愛と平和に出会う機会をイスラーム教徒にもたらす聖なる行事について話しています。

駐日サウディアラビア王国大使
モハメッド・バシール・クルディ

この本は、サウディアラビア王国のリヤドにあるイマーム・ムハンマド・ビン・サウード・イスラーム大学東京分校アラブ・イスラム学院の協力によって出版されました。

発行：サウディアラビア大使館
原案：モハメッド・バシール・クルディ
作画：鈴木リマ

2001年2月発行